

社団法人 町田 法人 会 報

社団法人 町田 法人 会

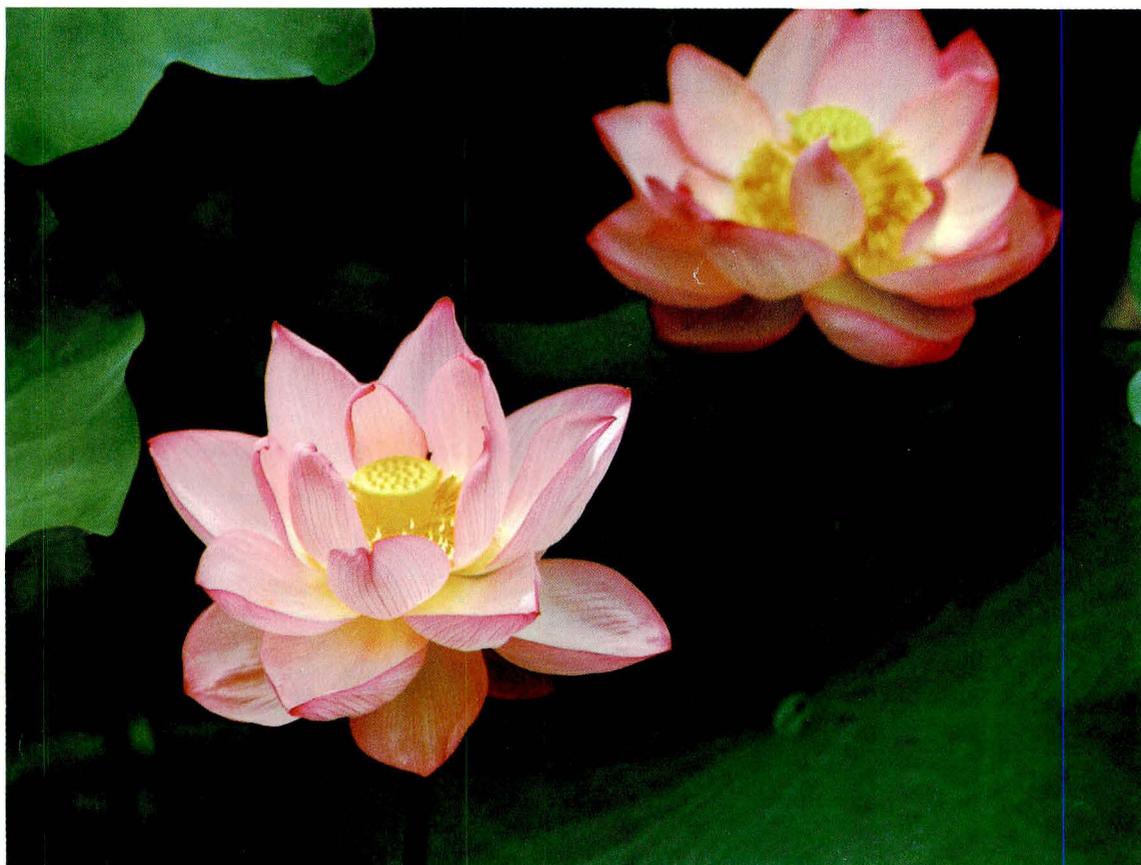
東京都町田市原町田 3-4-4
町商会館内

TEL. 0427 (26) 2453
(26) 4132

発行日 昭和58年8月31日

第10号 (通刊38号)

昭和58年
初秋号



題字は大西町田税務署長

目 次

大西署長着任あいさつ……………2	新役員に対する委嘱状交付……………18
町田税務署定期異動……………2	税務署よりのお知らせ……………18
幹部職員の紹介……………3	事務局だより……………22
町田税務署職員配席図……………4	青年部会第4回セミナー……………23
第3回通常総会開催される……………5	新会員紹介……………25



着任のあいさつ

町田税務署長

大西啓夫

暑さ厳しき折柄、社団法人町田法人会の皆様方には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私は、このたびの人事異動で荒巻前署長の後任を命ぜられ、麹町税務署からまいりました大西啓夫でございます。荒巻前署長同様よろしくご協力の程お願い申し上げます。

承るところによりますと、町田法人会は昭和55年8月の社団化に伴い、その事業活動はいよいよ隆盛を極め、管内の7地区22支部において、更には専門部会としての青年部会、婦人部会及び源泉部会において、斬新にして的確な事業活動を展開されており、その結果として58年6月末現在の会員数は全法人の約77パーセントに当たる2460社にもものぼり、東法連傘下中第3位という輝かしい成果をあげておられるとのことですが、私共にとりまして誠に心強い限りでございます。これもひとえに三橋会長さんはじめ役員のかたがたのみなみなならぬ熱意と、会員の皆様方の税務に対する深いご理解の賜であり、深く敬意を表する次第であります。

ります。

ところで、最近の我が国を取りまく経済情勢は内外ともに厳しく、また、財政再建に対する国民の要望も一段と強まりを見せており、これに伴い税務行政に対する国民の期待と関心は極めて高いものがあります。

私共は、このような環境のもとにおきまして、不正な納税者に対しては厳正に対処することはもとより、誠実な納税者の方々に対しては信頼関係を一層深め、適正公平な課税の実現に向けて努力を傾注する覚悟であります。そのためには、法人会の皆様方のご協力は不可欠のものであり、これまで以上にお互いの連携を密にし、誠実な納税者の育成のために頑張っていきたいと念じておりますので、皆様方のより一層のご理解あるご協力をお願い申し上げます。

終りに、町田法人会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、事業のご繁栄を心から祈念致しまして、着任のごあいさつと致します。

町田税務署定期異動発令

町田税務署、幹部の定期異動が、去る7月12日付で発令になりました。

当会の事業活動にまた組織編成に公務ご繁忙の処を積極的にご支援とご指導を頂きました。荒巻署長さんはじめ幹部の方々の異動が発令になり、荒巻署長は国税庁、長官官房企画課に、法人部門西野第二統括官には国税局へ、また法人の皆様が一番関係の深かった、真籠指導官は保土ヶ谷税務署へそれぞれご栄転になられました。

ご転出になられた各位の法人会に寄せられましたご厚意に対して衷心より感謝申し上げます。次第で

ございます。

荒巻署長の後任として麹町税務署より、大西啓夫署長が着任されました。

法人部門第二統括官として有田四郎氏が平塚税務署より、真籠指導官の後任として会津隆行氏が麻布税務署より指導官として着任されました、新しくご赴任の各位には前任者に倍してお力添えをお願い申し上げる次第でございます。

なお大西署長よりご着任のご挨拶を頂きましたので、本号に掲載してご報告致します。

皆様に直接関係のある

町田税務署幹部職員のご紹介



塩井副署長



新しく着任された
剣持総務課長



法人税・源泉所得税第一部門
百々統括官



新しく着任された
法人税・源泉所得税第二部門
有田統括官



新しく着任された
法人税第一部門
会津指導官

新署長さんのプロフィール

—町田税務署長に赴任された— 大西啓夫氏—

「赴任当日、町田駅に着いてデパートが集中し、活気に溢れているのに先ずビックリ、さらに聞けば買物客も遠く厚木・川崎方面からも出かけてくると聞いて二度ビックリ」と町田の第一印象を語る。これまでの勤務地が国税局を含めて都区市内と神奈川県横浜周辺が主であり、多摩地区は初めての勤務で予備知識も殆んどなかっただけに強烈だったらしい。

◎税務の仕事は調査、指導、相談および広報が柱になっているが、「究極の目的は適正な自主申告を確保することにある。そのためには地方公共団体との協調と関係民間団体との連携を強めるなど、それぞれご協力を頂きながら、全署員が一体となって全力投球して参りたい」と抱負の弁。柔和な表情の中にも慎重に言葉を選びながら話す。

◎着任にあたって全職員に身心共に健康で明る

い気持ちで仕事をしてゆくよう改めて呼びかけると共に「当然のことながら公務員として姿勢を正し、信頼される税務行政に向って努力していこう」と強調したという。

モットーは「相手の身になって人間的なふれ合いを大切に」を信条にしている。

◎趣味は音楽、スポーツ、将棋と多く、とくにスポーツは球技が好きで、小はゴルフから大はボウリングまで幅広い。

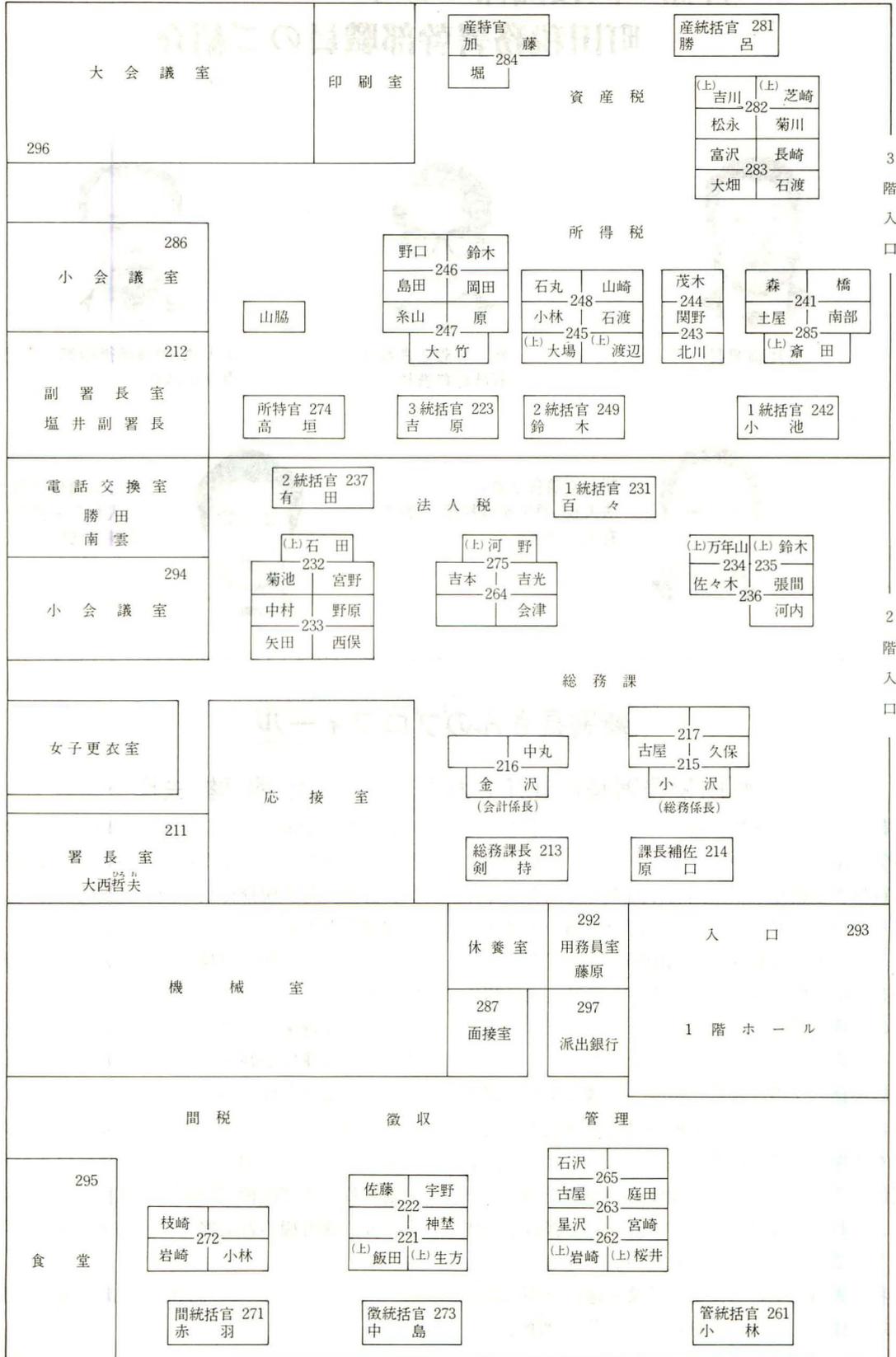
ご住いは横浜市に好子夫人、長女夫妻、孫の五人家族、入局以来間税一筋で、51年に保土ヶ谷署の副署長、再び国税局間税部の統括官、特別調査官を経て麴町税務署副署長に、55才、東京上野出身。

(この記事は武相新聞より転載)

町田税務署職員配席図

〒194 町田市中町3-3-6

電話 0427-28-7211



第3回通常総会 通算33回 開催される

委員会 町田 昭 (社)

社団法人町田法人会、第3回通常総会が昭和58年5月27日千寿閣において、大下町田市長はじめ町田税務署より署長並びに幹部の方々、東京税理士会町田支部長、商工会長及び衆議院議員伊藤公介氏他多数のご来賓を迎え、会員100余名の出席の

もとに盛大に開催されました。

終って来賓各位よりご鄭重なご祝辞を賜りました。各位のご祝辞を掲載いたすべきのところ紙面の都合により割愛させて頂き荒巻前署長のご祝辞を掲載してご報告いたします。





ご挨拶

(社) 町田法人会会長

三橋 忠正

本日第三回通常総会を開催致しました処、町田税務署荒巻署長様始め、ご来賓並びに法人会の皆様には月末ご多忙の折ご遠路お運びを頂きまして誠に有難うございました。

当会の運営につきまして税務当局並びに役員の皆様には多大なご支援ご協力を賜り心より御礼を申し上げます。

社団法人発足以来三年目を迎え、会の発展も誠に目覚しいものがあり、かねてより重点施策としての会員増強と加入率の向上、広報、研修、厚生等、事業の充実と税務教育の拡大など組織の活用を図り、会員の利益、メリット作りに邁進いたしました。

57年度会員増強運動におきましても組織委員会、会員増強特別委員会の皆様には数ヶ月の日数を犠牲にされて多大な成果を取められたのであります。

東法連57年度の会員増強実績表によりますと、町田法人会は46法人会中第3位、加入率76.1%と

して東法連第5回通常総会に於て受賞の榮に浴しました。尚、増強運動個人表彰に於きましても5名の方々が受賞されました。この様に本日皆様にご披露出来ます事は皆様ともどもご同慶の至りでございます。

当会と致しましてもこの方々のご努力に対し、功労顕彰を申し上げその大きな功績を讃えたいと思います。尚、この感謝の記念として荒巻署長様ご自身の作によります特製の色紙の贈呈がございます。ご披露申し上げ、御礼申し上げます。

今後共、増強運動につきまして皆様の格段のご支援を賜ります様お願い申し上げます。

各部会、各委員会の活動状況については次の議案内容をご覧載き、ご理解賜れば幸甚です。

終りに、ご来賓並びに会員の皆様のご指導とご協力に対しまして重ねて御礼申し上げ皆様の益々のご精進とご発展を祈念いたしまして私の挨拶といたします。





ごあいさつ

町田税務署長

荒 卷 健 二

本日は、(社)町田法人会の第3回通常総会にお招きをいただき、またお祝いのご挨拶を申し述べさせていただく機会を得ましたことを、大変光栄に思っております。

本日、お集まりの皆様方には平素から税務行政に対し、深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず始めに昨年度の収支決算、58年度の事業計画等につき、慎重にかつ熱のこもった審議が続けられ、全て原案通り承認されましたことに対し、心からお祝い申し上げます。

今年はこの総会において役員の変更が行われた訳ではありますが、社団化以来、長期に亘ってご活躍されました旧役員の皆様、大変ご苦労様でした。

皆様方のご努力で昨年には婦人部会の発足を見、また会員増強運動も大きな成果をあげ、東京法人会連合会46会のうちで第3位76.1%の加入率を誇るすばらしい会に成長されました。

これも皆様方の努力の賜物と思っております。

これからも会に対する良き助言者として、ご活躍されることをお祈りいたします。

会長さん副会長さんを初め、引続き役員を務められる皆様、また新たに役員になられた皆様にはこれまで諸先輩の造られた立派な成果の上になつて町田法人会を益々素晴らしい会にさせていただきたいと思っております。

それにつけても、先程の事業計画の中で触れられていましたように今年も組織の強化とともに様々な公益的な事業を計画しておられますことは、私共としては大変心強いことでもあります。

またご自身の事業と公益的会活動の双方に尽力されている皆様はこの場をお借りして心から敬意を表させていただきたいと思っております。

さて法人会活動は、そもそも会員の皆様方によ

る皆様方のための自主的な活動でなくてはならないものと思います。

従って、会員の方々のニーズを適確に把握し、しかもそれを適切に会活動に反映させていくということが重要になってくると思います。

ところが最近、加入法人が1万を超えるという会がありますが、町田法人会においても、加入率76.1%という数字が示すよう加入法人が急増しており、これまでのように本部主導という形で改革が進められていきますと、個々の会員まで下りていってその要望を吸いあげて会活動に反映させていくという法人会本来の姿が、なかなか進められないこととなります。

そこで先程、会長さんから紹介がありましたが昨年、東京国税局の剣持法人税課長の「法人会の会務運営の手引」がしめされ、これに多くの法人会が賛同され、組織の編成強化が進められている訳であります。

(社)町田法人会におきましてもこの問題に早速取り組まれ、例えば町田南地区において、いち早く班組織を編成されておりますし、他の地区におきましても支部を増やしたり、班編成の方向で組織の強化に大変熱を入れられておりますが、組織の強化は、新役員の方々にとりまして今年以降大きな課題になるものと思われま

す。是非、これからも会員のための法人会づくり、それに組織強化への方向に進んでいっていただくことを期待しております。

本日ご出席の皆様を中小企業とお呼びすることは大変恐縮でございますが、よく中小企業の盛衰は、経営者個人の能力次第と言われております。経営者の如何がその企業の将来に対して持つ意味が非常に大きなものだと—私は門外漢でございますが—いうことでもあります。

私はその経営者の能力を更に高める場として法

人会があり、法人会活動がある様な気がします。例えば、法人会が様々な事業活動をし、皆様はその活動に参加していく中で、ご自身の企業を超えた幅広い様々なタイプの企業あるいは企業経営者に出会いそうした方々から失敗談とか成功談あるいは苦労話を聞かれることがあると思います。

こうした知識は書物等では到底得ることのできないもので、皆様方が経営を続ける上でヒントを与え、あるいは将来に向けての洞察力を生むことにつながるのではないかと思います。

また、同時に会活動を通じて普段の事業とか、日常生活では得られない人間関係の輪が広がられていくこともあると思います。

直接事業に結びついてくるようなものではないかも知れませんが法人会活動を通じて、人と人とのつながり、企業を超えたつながりができ、これが地域における皆様方の企業の基盤を強化していくものではないかという気がします。

しばしば法人会のメリット論が言われますが、会活動がこうしたことを通じて会員の皆様方のために役立つということが、やはり一番のメリットではないかと思います。

私共の税務行政から見ても、会活動は大変重要なものでございます。

ご承知のように、申告納税制度の中では、個々の納税者が税に対して知識を有しているか、ある

いは税務に対してどのような見方をしているかが非常に重要になってきます。このため、法人会がその活動を通じ税務知識の普及、納税道義の高揚に努めておられるということは、税務の円滑な運営に大きく貢献しているということが言えます。

また先程、お話がありました、確定申告期間中広報車を回していただき、確定申告のPRのご協力を願ったり、また町田は交通機関が一部に片寄っているため、車を利用される方が多いのですが、その利用者のために青年部会の皆さんが駐車場の整理等、交通整理にまでおいでいただいたり、大変ご協力いただき、さらに親睦会、婦人部会の研修会にも参加させていただき、青年部会とも親善ソフトボール大会を行うなど楽しい思い出を作らせていただきました。

この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

私はよく申し上げますが、町田税務署の誇るものは綺麗な庁舎と協力団体であります。その協力団体の中でもリーダー的な立場にあられる法人会（社）町田法人会の益々のご発展をお祈りいたします。

終りになりますが、会員の皆様のご事業の発展を、またご来賓の方々を含めまして本日ご臨席の皆様のご健勝をお祈りして私の挨拶といたします。

本日は有り難うございました。

総会は、司会、杉浦常任理事より、本総会の成立条件が適法である旨の報告があり、石井副会長の開会の挨拶に引続いて、社団法人町田法人会の定款に定めるところにより、三橋会長議長となり議事に入ります。

1. 議事録署名人は、下記2名を選出する。

町田市忠生 4-9-1 矢巻 勤二

町田市原町田 6-21-24 松澤芳太郎

2. 議 事

第1号議案 昭和57年度 事業報告

第2号議案 (イ) 昭和57年度 収支決算報告を齊藤総務委員長より報告 (ロ) 会計監査報告を 監事井上茂留氏より報告

第3号議案 昭和58年度 事業計画 (案)

第4号議案 昭和58年度 収支予算 (案) を齊藤総務委員長より報告があり各議案とも原案どおり承認可決された。

第5号議案 任期満了に伴う理事・監事選任の件については、次のとおり選任し承認可決された。なお当日緊急理事会が招集され、理事の互選により、会長、副会長、常任理事も併せて次のとおり選任された。



選任された役員

役 職	氏 名	事 業 所 名	役 職	氏 名	事 業 所 名
理事 会 長	三橋 忠正	(有)三橋宝永堂	理事	小山 克己	(株)三 和
〃 副 会 長	石井 儀一	(株)マ サ ダ ヤ	〃	高尾 伸	高尾建設(株)
〃 〃	鈴木 英正	(株)鈴 加	〃	高山 隆	(株)高山商店
〃 常任理事	八木下正男	(有)丸孝家具店	〃	阿部 直	(株)内藤電誠町田製作所
〃 〃	井之上哲夫	(株)久 美 堂	〃	岩波 弘介	岩波建設(株)
〃 〃	古関 隆幸	(有)古関商店	〃	貝瀬 収三	(株)カイセ工業
〃 〃	井上 恵博	ケ-ユー商事(株)	〃	中里 猪一	(株)中里ハウジング
〃 〃	萩生田 博	萩生田産業(株)	〃	斉藤 文雄	つくし野不動産(株)
〃 〃	矢巻 勤二	町田ガス(株)	〃	藤田 義徳	(株)総合図書
〃 〃	木下 公福	(有)ハッピーストア-	〃	石川洋一郎	(株)愛洋商事
〃 〃	斉藤 繁	(有)さいとう	〃	金子仙太郎	(株)金子商店
〃 〃	小川 量司	(株)マルカワ	〃	老沼 和夫	(株)町田中央建設
〃 〃	中島 貞雄	なかじま商事(株)	〃	中里 正一	都生工業(株)
〃 〃	鈴木 西市	(有)鈴木タンス店	〃	大川 健次	相模工機(株)
〃 〃	諸橋 良吉	(株)町田小田急	〃	若林 忠次	(有)若林工務店
〃 〃	四ヶ所 守	(医社)芙蓉会芙蓉病院	〃	石川 光男	(有)協和精密工業
〃 〃	尾辻 胖	(株)電 巧 舎	〃	井上 輝照	(有)井上製材所
〃 〃	森山 兼光	(株)森山商事	〃	内田 輝雄	(有)内田商店
〃 〃	杉浦 信男	(株)中野屋	監事	岩沢 正義	(株)岩沢商会
〃 〃	松山 在九	(株)マ ツ ヤ マ	〃	加藤 忠男	(有)ふじ商会
〃 〃	飯田 直敏	(株)飯田屋本店	〃	村田 清	(株)桜 屋
〃 〃	木口 正	(有)クラウン興業			

第 1 号議案 昭和57年度 事業報告概要

- | | |
|--|---|
| <p>☆ (財) 全国法人会総連合 関係 行事 6回</p> <p>☆ (社) 東京法人会連合会 関係</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 会議 49回 (2)研修会・セミナー 5回</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 懇談会 6回 (4)その他 4回</p> <p>☆ 三多摩法人会 関係 行事 9回</p> <p>☆ (社) 町田法人会 関係</p> <p style="padding-left: 20px;">会議 (1)総会 1回 (2)定例理事会 9回</p> <p style="padding-left: 40px;">(3)役員会 4回 (4)委員会 12回</p> | <p>(5)地区役員会10回 (6)その他 1回</p> <p>(7)関係団体との打合せ会 5回</p> <p>事業 (1)役員研修会1回 (2)税法説明会 35回</p> <p style="padding-left: 20px;">(3)簿記講習会9回 (4)会報発行 4回</p> <p>(5)広報活動 3回 (6)会員増強 3.5月</p> <p style="padding-left: 20px;">(7)税務懇談会12回</p> <p>△ 青年部会関係 会議その他行事 17回</p> <p>△ 婦人部会関係 会議その他行事 12回</p> |
|--|---|

昭和57年度 収支決算書

自昭和57年4月1日至昭和58年3月31日

(単位 円)

△は減を示す

I 収支計算の部

1. 収入の部		予算額	決算額	差異	摘 要
科 目	項				
会 費	会 費 収 入	2,053,800	2,037,360	△ 16,440	期末会員数(2,443社)
	基本財産運用収入	403,500	408,921	5,421	定期預金(基本金)利息
	補助金収入	1,596,000	1,757,690	161,690	大型保障謝金等
	雑 収 入	100,000	595,076	495,076	普通預金利息等
	退職給与引当金戻入		235,400	235,400	退職金損金計上分
	前期繰越収支差額	2,497,287	2,497,287	0	
収入合計(A)		25,134,787	25,867,974	733,187	

2. 支出の部		予算額	決算額	差異	摘 要
科 目	項				
事 業 費	講習講演会費	2,350,000	2,113,806	△ 236,194	各種税法説明会、簿記講座等
	研究懇談会費	300,000	315,800	15,800	税務懇談会費、税務関係新聞等
	地区、支部運営費	1,000,000	505,100	△ 494,900	地区、支部運営活動費
	会報発行費	2,400,000	2,581,940	181,940	会報発行、「法人の税務」等
	広 報 費	250,000	178,000	△ 72,000	野立看板地代、広告料
	連 合 会 費	300,000	280,000	△ 20,000	全法連、東法連、三法連等の会費
	会員増強推進費	600,000	341,773	△ 258,227	
	行 事 費	3,850,000	3,436,175	△ 413,825	通常総会費用各部署の行事費等
	通 信 費	400,000	288,895	△ 111,105	三井ファイナンス他発送費用
	印刷製本費	400,000	527,700	127,700	法人の税務他発送封筒等
	事業費計		11,850,000	10,569,189	△ 1,280,811
管 理 費	退 職 金		292,500	292,500	事務局職員1名退職
	給 料 手 当	8,000,000	7,449,389	△ 550,611	
	退職給与引当金繰入	433,400	433,400	0	
	福 利 厚 生 費	100,000	87,297	△ 12,703	労働保険料、勤労者互助会会費等
	役 員 会 費	450,000	221,510	△ 228,490	定例理事会等
	委 員 会 費	200,000	37,880	△ 162,120	各委員会の会議費用
	旅 費 交 通 費	420,000	476,313	56,313	役職員交通費
	消 耗 品 費	470,000	578,801	108,801	事務消耗品等
	水 道 光 熱 費	230,000	215,510	△ 14,490	事務所ガス、電灯代並に共益費
	貸 借 料	720,000	915,000	195,000	事務所賃借料
	集 金 手 数 料	1,320,000	1,300,650	△ 19,350	集金手数料
	備 品 購 入 費	100,000	308,825	208,825	会議用テーブル、椅子、クローラー移設費
	慶 弔 費	70,000	45,000	△ 25,000	
渉 外 費	250,000	201,986	△ 48,014	各種団体祝金等	
函 書 費	100,000	60,000	50,000	税務関係新聞講読料	
雑 費	100,000	202,456	102,456	事務所増設費用他	
管理費計		12,873,400	12,826,517	△ 46,883	
事業費・管理費計		24,723,400	23,395,706	△ 1,327,694	
予 備 費	什 器 備 品		265,000	265,000	会議室冷暖房機
	保 証 金		150,000	150,000	会議室1室増分保証金
	予 備 費	411,387		△ 411,387	
支出合計(B)		25,134,787	23,810,706	△ 1,324,081	
次期繰越収支差額 (C = A - B)			2,057,268	2,057,268	

Ⅱ 正味財産増減計算の部

1. 増加の部				
科 目		決 算 額		摘 要
備 品 増 加 額		415,000		冷暖房機1台 保 証 金
前期繰越増減差額		2,048,949		会旗、複写機2台、宛名印刷機、冷暖房機 1台、タイプライター、保証金、電話加入権
増加額合計 (D)		2,463,949		

2. 減少の部				
科 目		決 算 額		摘 要
減 少 額		0		
減少額合計 (E)		0		
次期繰越増減額 (F = D - E)		2,463,949		
剰 余 金 合 計 (G = C + F)		4,521,217		

別紙の通り報告致します。

昭和58年5月9日

社団法人 町田法人会

会 長 三 橋 忠 正

別紙の決算書類を監査したところ、適法かつ正確であることを認め、報告します。

昭和58年5月9日

監 事 岩 沢 正 義 ㊟

監 事 井 上 茂 留 ㊟

監 事 鈴 木 酉 市 ㊟

貸借対照表

(昭和58年8月31日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
1. 流 動 資 産		1. 流 動 負 債	
(1) 現 金	477,694	(1) 預 り 金	88,697
(2) 普 通 預 金	1,570,742	流動負債計	88,697
(3) 当 座 預 金	23,669		
(4) 貯 蔵 品	130,960	2. 固 定 負 債	
流動資産計	2,203,065	(1) 退職手当引当金	963,000
		固定負債計	963,000
2. 固 定 資 産		負債の部合計	1,051,697
(1) 退職手当積立金 定期預金	905,900		
(2) 定期預金(基本金分)	5,000,000	正 味 財 産	
(3) 保 証 金	348,000	1. 基 本 金	5,000,000
(4) 什 器 備 品	2,029,000	2. 剩 余 金	
(5) 電 話 加 入 権	86,949	次期繰越収支差額	2,057,268
固定資産計	8,369,849	次期繰越増減差額	2,463,949
資産の部合計	10,572,914	剰余金計	4,521,217
		正味財産合計	9,521,217
		負債及び正味財産合計	10,572,914

会費納入についてのお願い

当法人会も皆様のご理解あるご支援のお蔭にて会員も大変多くなりました、有がたく感謝致して居ります。

それにともない、地域が広範囲のため、会費の集金が困難になってまいりました。つきましては前々より多数の皆様にご協力頂いております、三井ファイナンスによる会費の自動引落し、また、当会取引金融機関へのお振込み、の方法に切換えて頂き、事務処理の簡素化にご協力下さるよう重ねてお願い致します。

なお、方法についてご不明の点は法人会事務局

(26) 2453・(26) 4132 へお問合せ下さるようお願い申し上げます。

財 産 目 録

(昭和58年3月31日現在)

項 目	内 訳	金 額
基本財産		5,000,000
定期預金		
横浜銀行町田支店(＃076-867)	1,300,000	
" " (＃116-311)	700,000	
富士銀行 " (＃1085742)	1,000,000	
八千代信用金庫 " (＃167452-1)	2,000,000	
運用財産		4,521,217
現金	477,694	
普通預金		
横浜銀行町田支店(＃013854)	383,784	
富士銀行 " (＃539960)	264,530	
八千代信用金庫 " (＃0164011)	324,002	
三井銀行 " (＃4192930)	154,775	
住友銀行 " (＃96719)	155,167	
三菱銀行 " (＃4440282)	219,477	
安田信託銀行 " (＃602320)	38,884	
東京都民銀行 玉川学園支店(＃0313328)	30,123	
当座預金		
横浜銀行町田支店(＃014104)	13,669	
三井銀行 " (＃4192930)	10,000	
定期預金(退職手当積立金)		
富士銀行町田支店(＃1317287)	472,500	
三菱銀行 " (＄8332097)	433,400	
貯蔵品(会員プレート)	130,960	
保証金(事務所保証金)	348,000	
什器備品		
会 旗(社団法人町田法人会)	280,000	
複写機(キャノン)	290,000	
" (リコー)	360,000	
暖冷房機(東芝)	438,000	
" (三洋)	265,000	
宛名印刷機	238,000	
タイプライター(シルバーリード)	158,000	
電話加入権	86,949	
小 計	5,572,914	
預り金	△ 88,697	
退職給与引当金	△ 963,000	
小 計	△ 1,051,697	
正味財産		9,521,217

第3号議案 昭和58年度事業計画(案)承認の件

昭和58年度事業計画

事業計画の大綱については、前年度と特に変わることなくこれを踏襲することとするが、地区会における支部等の再編成、役員の増加による組織の整備、委員会の強化等を考慮、本年度の事業活動の基本方針とする。

(組織の強化)

- 1 健全な納税団体として、事業の公益性を高め、会員増強を更に強力に推進すると共に法人会組織の拡大強化を図る。

(租税負担の合理化)

- 2 適正公平な税制と租税負担の合理化を図るため、全法連のこれに対する動向に合わせ、政府国会に対して強力な要望を行ないその実現を期する。

(税務行政への協力)

- 3 税務当局との相互信頼により、税務行政への円滑な運営に協力し、申告納税制度に寄与する。

(自計主義の推進)

- 4 自計主義を徹底し、経営の合理化を図るとともに、自主申告体制を確立するため、誠実な記帳と適正な申告の普及に努める。

(企業経営の健全合理化)

- 5 企業経営の健全を期し、企業の発展向上を図るため、経営、経理及び税務に関する研究指導を行なう。

(会員増強と組織の活用)

- 6 組織の強化拡充は目的達成に不可欠の要件であるため、下部組織の強化に努め役員と会員との連繫を更に密にして上意下達、下意上達の円滑化に努める。

会員増強については全法連の会員増強月間に呼応し統一的運動を実施、その結果著しい効果が得られた。今後は強化された組織を活用し、加入率の維持と更に強力な会員増強運動を推進すると共に会員の質的向上を図る。

地区或いは支部等にて開催される諸会議に本部役員は積極的に参加して、末端実情を的確に把握し情報提供の資とするとともに、法人会運営の施策に反映させる。

(青年部会並びに婦人部会の育成指導)

- 7 法人会活動の一翼をになう青年部会並びに婦人部会の法人会活動における重要性に鑑み、これの育成強化を図ることは緊急である。各部会のそれぞれの立場から活動を推進し、法人会活動の推進力となるよう育成指導を図る。

事業計画

1. 組織の強化

- (1) 会員増強の積極的推進
- (2) 各種委員会の機能の強化
- (3) 本部並びに地区組織の強化

2. 税制関係

- (1) 税制に関する調査研究
- (2) 税制改正要望大会に対する積極的協力
- (3) 政府、国会等に対する要望

3. 税務行政関係

- (1) 会員の質的向上
- (2) 税務行政に対する要望意見の具申
- (3) 税務当局との研修会、懇談会の開催
- (4) 青色申告の普及
- (5) 納税協力団体との協調連携

(6) その他税務行政に関する事項

4. 税務に関する研究指導

- (1) 税法並びに取扱通達の研究指導
- (2) 経営、経理の自主点検の普及並びに申告水準向上のための指導
- (3) 源泉徴収事務の適正化に関する指導
- (4) 小規模法人に対する記帳指導の推進
- (5) 既存ブロック制の共催事業の活用
- (6) その他税務に関する事項

5. 講習会、説明会関係

- (1) 税法、簿記、会計、経営に関する講習会の開催
- (2) 各種説明会の開催
 - (イ) 改正法令等の説明会
 - (ロ) 年末調整事務等に関する説明会
 - (ハ) 源泉徴収等事務に関する説明会
 - (ニ) 決算書、申告書作成に関する説明会
 - (ホ) その他税務に関する説明会
- (3) 税理士会に対しての講師派遣の要請

6. 広報、出版関係

- (1) 法人の税務、法人会報の発行
- (2) 各種資料の収集並びに頒布
- (3) 参考図書、説明会用テキストの取次
- (4) 改正税法並びに取扱い通達等の速報
- (5) その他広報に関する事項

7. 福利厚生関係

- (1) 大型総合保障制度並びに役員及び従業員退職金共済制度の取扱い
- (2) 会員の健康管理のための人間ドックのあっせん、取次

昭和58年度 収支予算書

(昭和58年4月1日～昭和59年3月31日)

(単位 円)
△は減を示す

① 収入の部					
科目		昭和58年度 予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
款	項				
会 費	会費収入	24,612,000	20,538,000	4,074,000	2,443社に対して300社増
	基本財産運用収入	290,000	403,500	△ 113,500	基本財産定期預金利息
	補助金収入	1,706,000	1,596,000	110,000	全法連、東法連大型保障謝金他
	雑収入	293,000	100,000	193,000	普通預金利息
	前期繰越収支差額	2,057,268	2,497,287	△ 440,019	
収入合計		28,958,268	25,134,787	3,823,481	
② 支出の部					
科目		昭和58年度 予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
款	項				
事 業 費	講習講演会費	1,375,000	2,350,000	△ 975,000	税法説明会、簿記講習会等
	研究懇談会費	300,000	300,000	0	税務懇談会費、税務関係新聞等
	地区、支部運営費	800,000	1,000,000	△ 200,000	地区、支部事業費
	会報発行費	2,700,000	2,400,000	300,000	会報4回印刷費並びに郵送料
	連合会会報費	1,776,000		1,776,000	「法人の税務」購入並びに郵送料
	広報費	250,000	250,000	0	野立看板地代、広告料等
	連合会費	300,000	300,000	0	全法連、東法連、三法連会費等
	会員増強推進費	600,000	600,000	0	増強月間運動諸費用
	行事費	4,375,000	3,850,000	525,000	通常総会、青年部会、婦人部会費用等
	通信費	400,000	400,000	0	電話料、通信用切手、ハガキ等
	印刷製本費	400,000	400,000	0	簿記講習他印刷代
事業費計		13,276,000	11,850,000	1,426,000	
管 理 費	給料手当	8,000,000	8,000,000	0	職員給与、賞与並びにパートタイマー支出
	退職給与引当金繰入	562,000	433,400	128,600	
	福利厚生費	100,000	100,000	0	労災、雇用保険、職員厚生費等
	役員会費	450,000	450,000	0	定例理事会等費用
	委員会費	200,000	200,000	0	各委員会、会議費用
	旅費交通費	450,000	420,000	30,000	職員交通費、役員管外交通費
	消耗品費	500,000	470,000	30,000	事務消耗品、その他消耗品
	水道光熱費	230,000	230,000	0	事務局、ガス及び電灯料他
	賃借料	1,032,000	720,000	312,000	事務局、会議室賃借料
	集金手数料	1,297,000	1,320,000	△ 23,000	集金手数料、三井ファイナンス手数料
	備品購入費	100,000	100,000	0	掃除機、書類棚造作費用
	慶弔費	70,000	70,000	0	会員の供花代その他
	渉外費	250,000	250,000	0	関連団体、納税表彰等対外的慶弔
	図書費	50,000	100,000	40,000	税務関係図書購入費用
雑費	100,000	100,000	0		
諸税公課	330,000		330,000	三井ファイナンス印紙及自動車税	
管理費計		13,721,000	12,873,400	847,600	
事業費・管理費計		26,997,000	24,723,400	2,273,600	
	予備費	3,572,688	4,113,887	△ 541,199	
	車輛運搬具	1,140,000		1,140,000	サニー、カルフォルニア55年型
	車輛費	464,000		464,000	自動車ガソリン代、点検費用
支出合計		28,958,268	25,134,787	3,823,481	

新役員に対し委嘱状伝達式開催される

昭和58年7月28日午後3時より千寿閣において町田税務署より大西署長はじめ塩井副署長、百々第一、有田第二各統括官及び会津指導官各位のご臨席を頂いて法人会よりは役員 100余名出席のもとに極めて厳粛裡に執り行われ、大西署長よりご

祝辞を賜わり、引続いて第二部として懇親会が催され、新しく赴任された税務署長はじめ署の幹部の方々と新役員との交流を深めなごやかな雰囲気の中に役員委嘱状伝達式行事が総べて終了した。



— 税務署よりのお知らせ —

ご存知ですか

本年8月より、納税申告書の提出、納付などの期限がその月の第二土曜日に当たる場合は、日曜日や国民の祝日その他一般の休日の場合と同様にその期限が翌週月曜日まで延長されることになりました。

これは、毎月の第二土曜日は銀行等の金融機関が休業し、また、郵便局の窓口業務が行われないことになったことによるものです。

この結果、例えば、源泉所得税の納期は通常、翌月10日ですが、この日が第二土曜日に当たるときは、その翌々日の12日が納期限となります。具体的には、本年8月支払分給与等の源泉所得税については、9月10日が第二土曜日に当たりますので、この納期限は9月12日となります。

詳しくは、最寄りの税務署又は税務相談室にお尋ねください。

⑥ 試験研究法人等の範囲の拡大

- 修正のポイント
- 1 試験研究法人等の範囲に地方における都市の緑化事業の推進を主たる目的とする公益法人が加えられました。
 - 2 国から補助金の交付を受けることが要件とされていた試験研究法人等について、その要件に代え、主務官庁の認定を必要とすることに改められました。
 - 3 共同募金会を通じて行う社会福祉事業に対する指定寄附金の範囲が拡充されました。

適用時期

昭和58年4月1日以後に支出する寄附金から適用

——法人会事務局よりのお知らせ——

昭和58年度 年末調整事務等 についての説明会

町田税務署・町田市役所・町田法人会 共催による

—— 開催についてのお知らせ ——

開催月日	会 場	※各会場共対象地域が決まっておりますが、都合によりどこの会場でも受けまますので、奮ってご参加下さい。
11月21日（月）	町田市役所二階特別会議室	なお各会場とも 開始 午後1時30分 終了 午後4時00分 受付開始は、開会、30分前です。
〃 22日（火）	忠生市民センター（ホール）	
〃 24日（木）	八千代信用金庫南町田支店	
〃 25日（金）	横浜銀行 鶴川支店	
〃 28日（月）	町田市役所二階特別会議室	
〃 30日（水）	同 上	

事務局だより

第2回実務簿記講座 好評裡に終る

58年4月より7月にかけて開講しました。当会主催による、第2回初級実務簿記講習会は会員80名を対象に、町田市福祉協議会を会場に、東京税理士会町田支部の植木税理士先生を講師として招聘開講したところ、全課程9回に対して、全課程出席者53名を含め5回以上出席者80%の出席率にて受講者の熱心な受講態度に支えられて当会の計画の目的も100%達成の感がありました。

講師をお勧め頂きました植木税理士先生はに夜間にもかかわらずご熱心にご協力いただき誠に有がとうございました。誌面を借りて厚く御礼申し上げる次第でございます。



受講風景

第3回実務簿記講座(中級) —開講についてのお知らせ—

別添「昭和58年度中級実務講習会、開催のお知らせ」にて詳しくご説明してありますとおり、当会にては「中級簿記講座」を開講致しますので、会員の皆様、奮ってお申込み下さるよう、お待ちしております。

三多摩法人会連合会(第32回) 通常総会開催

昭和58年8月17日、府中市宮町大国魂神社参集殿において午後2時より、社団法人武蔵府中法人会担当にて、三法連第32回通常総会が開催されました。当日は台風5号の影響にて風雨ともに激しい中にもかかわらず、町田税務署よりは、大西署長はじめ塩井副署長、百々法人部門第一統括官各位のご出席を頂き、当会から石井副会長、井之上町田中央地区会長、森三法連監事と事務局よりは諸泉氏が出席致しました。

総会は、三法連関連7税務署より各署長、副署長、総務課長、法人部門第一統括官各位27名、東京税理士会、三法連上部団体その他関連団体よりの来賓多数を迎え、三法連関係役員90余名出席のもと、第一部総会、第二部講話等(1)「武蔵総社としての大国魂神社について」と題して大国魂神社宮司、猿渡盛文先生の講話(2)5月5日の大祭(くらやみ祭)の映画上映、第三部懇親会を開催盛況裡に終了した。

※なお本年3月まで2ヶ年にわたり当町田法人会が三法連担当会として、三法連運営の総てを担当してまいりましたが、58年度より(社)武蔵府中法人会に担当会を引継ぎましたのでご報告致します。

事業資金を必要とされる方へ

設備資金に、長期運転資金に、はば広くご利用いただける、中小企業金融公庫をご利用下さい。

(略称、中小公庫)中小公庫とは「中小企業金融公庫法」という特別の法律で設立された政府金融機関で中小企業のかたがたに長期・低利の安定した事業資金をご融資することを使命としております。資金の使いみちに応じての融資制度を用意しておりますのでお気軽にご相談のうえご利用下さい、融資の手続きは簡便です。

詳しくは(社)町田法人会へ

お問合せ下さい。(26)2453・4132

で経営の緒につきその後都下、神奈川県一円に意欲的に店舗網を構築、先発企業を次々に凌駕し、現在家具生活関連業界最大手に躍進された所謂の全国的な地歩を築かれた企業の創業者社長でもございます。

先に発表をみた57年度全国ランキングでは売上高第214位、240億円を達成し、本年度は200位入りを狙う有力企業として内外の多様な注目を集めている会社であり、講演のリクエストが多数寄せられた経緯をこの計数からもかいまみることが出来ましょう。

渋谷社長の人柄、同社発展の経歴とその時代的経営思考とその方策、個有の経営哲学等々聴講者の期待一杯のなかで定刻に開会されました。

冒頭、細野副部会長の司会によりすすめられ新任尾辻部会長の挨拶の後、早速講師渋谷社長の登場となりました。

壇上での話しはにが手とおっしゃる言葉の裏腹、静かな口調のなかに第一級経営者としての自信と熱意をひしひしと感ずるものでありました。

幼年期、町田にビルを建てたいと云うほのかな夢。戦中派としての戦時体験から形成された強烈な人生観。自からとび込んだ浅草橋「久月」での住みこみ店員時代の貴重な経験談。洋品部より独立創世期の苦勞談。30年代アメリカ視察の強烈な印象と果敢な自己啓発。家具部門の本格的進出。店舗展開の積極的経営施策の推進等理路整然と実績に裏うちされた内容はひとつひとつが感銘をう

け且つ参考になるものでありました。

成功、失敗、ウラ話し等をおりませながら壮大な企業規模に発展をみた今日迄一気にお話しをいただきました。

考える人はキラ星の如く多い、しかし実行に移す人は案外少ない。

実行実践こそ同社発展の原動力ではなからうか。第三回公開セミナー講師株式会社ケーユー商事の井上社長も夢をもち、目標をもつ。目標がなくなったら経営はないと話されましたが、渋谷社長も正に夢をもち次々に目標に挑戦し今日を築かれた道程はまさしく相通ずるものがありました。

講師の仕事にける熱意とパワーに一同感服した次第であります。

コーヒープレイクをはさみ同社のスライドの上映が行なわれ、次いで質疑に移り、多様な側面より活発な質問が出され非常に有意義なセミナーとなりました。

最後に杉浦前部会長の謝辞があり全てのスケジュールがとどこをりなく終了致しました。

講師をお勤め下さいました渋谷社長殿には大変ご多忙のなか誠に有難うございました。

誌面を借り厚くお礼を申し上げます。

尚、青年部会では引続き私の経営をシリーズとして実施してゆく予定です。

ご意見、ご希望をお気軽にお寄せ下さい。



新 会 員 の ご 紹 介

自 昭 和 58 年 2 月 1 日
至 昭 和 58 年 8 月 31 日

法 人 名	代 表 者 名	所 在 地	業 種	電 話
(株)東京トラス	山口 敦二	原町田1-6-23	輸送機械装置販売	22-2115
(有)アズミ	河野 和明	〃 3-8-5	電機製品販売、賃貸	28-9115
町田薬業(協)	河合 等	〃 4-3-4	薬局	22-3238
(有)グリーンアロービル	矢部 節子	〃 4-4-2	不動産賃貸	22-3725
(有)小島サービス	小島 智雄	〃 4-18-14	土地建物の管理	25-8840
(有)アート商会	高里 憲光	〃 6-21-3	金融業	29-5741
学糧本学園	榎本 春子	中町1-13-1	文房具の販売	22-3373
日本緑土企画(株)	柴田 知明	〃 1-17-4 杉井ビル	土地建物売買仲介	27-0711
(株)ゼンケン	宮沢 春芳	〃 1-10-15	健康寝具	23-0003
野津機材(株)	野津 実	〃 2-21-4	砕石機械回装置売買	29-1371
(株)シ・エヌ・シー	佐藤 岩男	〃 2-21-21 富士ハイム102	電子機器の設計製造	29-1466
瞑想建設(株)	五十川佳宏	〃 4-13-9	土木工事	28-8114
(有)ハラダ造園	原田 亮一	〃 1-8-4	造園庭園設計管理	22-3014
(株)東京技術学院	源内 久男	森野1-33-11	各種学校	28-4824
三栄商事(株)	小田 恭久	〃 1-34-13	冷蔵庫、ショーケース	26-6001
町田ハウジング(株)	下田 和男	〃 1-38-3	不動産仲介	26-5001
東南警備保障	石井 誠	〃 2-29-1	ガードマン	28-5746
朝日工営(株)	大滝 睦男	〃 3-7-54	不動産売買	25-1566
(株)ピープル	藤原 弘之	〃 6-25-1	自動車販売	25-0121
(有)中華三番	永富 栄子	〃 1-34-17	飲食店	22-5897
(株)インターナショナル ケーブルネットワーク	桑山 正三	旭町1-5-21	CATV事業 有線テレビジョン放送	29-5607
(有)原田梱包	原田 正弘	〃 1-9-2	梱包業	26-0235
(有)マキノ	松岡 明良	〃 2-3-14	工作機械設計製図	29-1375
(有)アローエンタプライズ	矢沢 武	本町田2708	不動産賃貸	22-1767
(有)マエカワ	前川 源祐	〃 2903	クリーニング	23-1518
(有)雄山運輸	山口 幸雄	〃 3599	運送業	23-6545
(有)光信	五十嵐信子	南大谷463	不動産の売買賃貸	23-4721
(株)平和電器	發知 正憲	〃 821-8	電気工事電気製品の販 売、附帯工事	23-4775
(有)禪グリーンケープ 設計事務所	福田 一成	玉川学園1-22-13	造園土木建築	29-2030 26-3761
(有)竜音楽出版	田村鉄之助	〃 3-18-1	歌手、芸能タレント斡旋	29-2277
(株)ベッテンハイム	井上 充	〃 4-11-15	羽毛ぶとん製造再生販売	28-1657
(株)マリアンヌ	清水 晴一	〃 7-8-1	衣料品卸	29-3723

会 員 一 覧 表

法 人 名	代表者名	所 在 地	業 種	電 話
(株)阪本工務店	阪本 博俊	玉川学園2-8-20	建設業	25-8147
(有)しらゆり	田辺満洲枝	金森439	不動産賃貸	22-0578
幸和不動産(株)	広田 信明	〃 1143	不動産売買	96-7052
(株)コムシス	入江 弘己	〃 1163	コンピューター設計 ソフトウェア開発	96-2193
(株)真規	米田 真規	小川1-26-2	紳士、婦人下着衣類	95-4630
(株)木村電機 コーポレーション	木村 勲	〃 3-3-3	電機関係	96-2472
(株)サンマダ	宮坂真知子	〃 3-5-4	理化学機器の製造販売	96-2400
(有)合同電子	鈴木 倫	〃 1217	電子機器部品の製造	95-3569
信栄建設(株)	森田 美治	〃 1643-3	土木建築	95-1358
トキワ美研(株)	恐神 敬夫	〃 1797-8	塗料内装工事塗装販売	96-0031
(有)幸輝商工	木戸 幸一	つくし野1-1-1	ビルメンテナンス	95-5936
(有)つくしの薬局	秋山貴志子	〃 1-31-7	医薬品日用雑貨	95-4469
(有)清林串の坊	林 三郎	〃 2-26-4	飲食店	96-7693
(有)新町田自動車	大内 文子	〃 3-11-15	各種自動車販売	95-3850
(株)西邦	佐藤 邦男	〃 4-11-7	自動車整備	95-0792
(株)ビクトリア	山本 利夫	南つくし野3-1-2	自動車販売	96-0777
橋本工業(有)	橋本 泰英	鶴間43-12	交通安全の施設整備	96-5423
(有)廣洋設備工業	廣田 浩示	〃 440-12	管工事	95-7459
堀内光機(株)	天川 裕二	〃 5号526第1東名ビル	工業用ゴム製品 光学部品組立一式	96-1431
(有)せきさん	井上 隆文	〃 1764	店舗住宅の賃貸	95-0212
(有)三輝商会	平山 三次	成瀬6-13-16	ラドン温泉ラドナー販売	29-5701
(有)恵比商	橋本 量美	〃 874-4	磁気医療器具販売 損害保険代理店 化粧品販売等	96-7113
(有)成瀬増田屋	内山 一宗	〃 874-9	日本ソバ	95-7520
(有)オートバイハウス	諸田 義則	〃 1399-6	オートバイ販売	26-1415
エヌ・シー(株)	愛甲 昇	〃 1600-17 センチュリーハイツ2-205	セラミック原料の開発	96-4320
久富(有)ドーベル	久富 義孝	成瀬1600-64	喫茶 & 軽食	96-6200
(株)鴨川呉服店	村上 昇	〃 1600-67	呉服小売	96-5571
フジサプライ(有)	斉藤 秀雄	〃 1730-3	健康食品衛生器具の販売	25-7864
長田コンサルタント協会(株)	長田 実	〃 1800-5	水産加工食料品等輸出入	28-8331
サンエス工業(株)	川原 茂男	〃 2118-56	プラスチック成型加工	29-2671
テクニカマチダ(株)	松下 秀雄	〃 2206	電気音響機器製造	25-5531
(有)日通興商	小玉 優	成瀬台2-26-5	図書出版	26-8375

法 人 名	代 表 者 名	所 在 地	業 種	電 話
(有)ト ラ イ メ ー ト	小林 三雄	成瀬台2-26-30	建設用機械工具	27-2813
(有)藤岡重機建設	藤岡 裕	〃 2-32-3	建設機械リース業	27-1765
(有)髪 切 り 屋	佐藤 政子	〃 3-8-7	理容業	28-8490
(株)新 機 鋼	能勢 大具	〃 3-17-5	土木工事	26-0760
(有)オ オ ブ チ 商 事	大淵 弘一	〃 3-35-8	健康機器食品の販売	27-0936
ロングフィールド(株)	長原 信雄	南成瀬1-8-1 村田ビル2F	コンピューター業務	29-3003
(有)ゴ ト ー	後藤 雄二	〃 2-11-1 センチュリーハイツ町田3-301	喫茶、洋菓子	29-1256
ナス コ(株)	林 茂樹	南成瀬4-19-3	電子制御機器の製造販売	22-1621
ナス パ ッ ク(株)	林 茂樹	〃	産業機械電気制御装置	22-1621
(株)あるけい総業	木日田邦夫	南成瀬4-22-1	不動産売買	22-6441
(有)リブショップアーバン	西岡 幸生	〃 5-1-20	内外装工事	28-9102
(株)塩 川 美 装	塩川 勇	〃 5-20-2	建築設計	26-6826
(有)吉 池 工 務 店	吉池 信幸	〃 6-5-16	建築請負	29-2526
(株)パ ン ダ ッ ク	飯盛 達夫	高ヶ坂100-4	文具事務用品	29-5841
(有)潮 土 建 工 業	飛石 潮泰	〃 1576	建設	26-7381
マ ル ヤ ス(有)	安藤 ヨネ	〃 1789	タバコ、切手、収入印紙	22-0254
(有)坂 牧 商 事	坂牧 勇	金井町13-1	消石灰、カーバイト等販売	34-6930
日 新 タ イ ル(株)	藤平 逸夫	〃 826-49	建設	35-2424
(有)エ プ コ ン	大形 哲夫	〃 1735-1	電子機器基板の設計	34-7070
(有)クックエンタープライズ	九鬼 潤	〃 2612-32	テニスに関する業務	34-1570
D A C(株)	入澤 康男	〃 3133 藤の台団地3-4-404	諸施設設計	27-6725
(株)東京管財研究所	近藤 玲子	野津田町2823	不動産管理、 運用のコンサルタント	35-4448
(株)ト ー シ ン ヘ ル ス	井上 武男	大蔵町156	健康マット	34-2236
(有)ま る み 水 産	中村 國一	〃 3152-2	水産物卸売業	35-2580
(有)小杉オフコンサービス	小杉 幸夫	鶴川1-7-1	マイクロ経理販売特約店 オフィスコンピュータ販売	35-1858
(株)だ る ま 堂	金沢 幸弘	〃 2-13-7	和・洋裁小物毛糸小売	35-5343
(有)東 京 後 藤	西井 伯夫	〃 3-7-14	土木造園	34-8724
(有)千 曲 萬 双 堂	篠田 一夫	〃 5-1-14-505	屏風、美術品	35-8382
レインボー造型企画(株)	前澤 範	能ヶ谷1598-232	映画等の大・小道具製作	34-4704
(株)アルバトロス	荒木 忠之	広袴町567	印刷	35-4370 03-586-6687
新日本技研工業(株)	鈴木 昭夫	木曾町1210-イ-14-307	電子機器、機構設計 回路設計研究開発製作	91-7541
(有)ショウエイオートサービス	渡辺 義一	〃 1491	自動車販売	93-1043

法人名	代表者名	所在地	業種	電話
(有)日本トリーイ	和田 正次	木曾町1826-2-205	鍋類卸	93-6243
(株)システムコーディネート	藤見 守広	〃 606-19	コンピュータ関係の委託業務、その他	92-7647
(有)太極図	岡田 栄一	山崎町1089-45	土木設計	93-3627
三邦電子工業(株)	三枝 邦男	〃 559-1	電子機器製造	93-1167
オリエントサーベイ(株)	黒木 重貴	忠生1-28-7 第二深沢ハイツ201号	環境アセスメント調査	92-2884
(有)東界相互	老沼 和夫	忠生2-31-14	貸金業	91-1101
(有)タックス町田	中山 徹男	〃 3-1-6	自動車販売	92-7577
(株)富田商事	富田 一美	〃 3-16-11	自動車販売、損保代理	93-1135
守蝶(株)	守屋 孝雄	〃 3-17-2	インテリア、文具、書籍	93-2321
(株)ワーナーグレイ	山口 恵子	〃 3-17-8	音楽教室	92-8585
(株)スタッフル	橋本 弘	矢部町2544	自動車部品販売	93-1222
(株)渋谷漬物食品	渋谷 三郎	図師町575-9	漬物、佃煮、豆腐製造	93-0372
(有)八木電気	八木 武二	相原町1294-2	電気機具設備工事	73-2891
(有)三陽土地	林 宏行	〃 1805-3	不動産売買	73-9550
(有)岸里	岸里 勲	小山町3203	建築工事	71-7715
企業組合 エム・アール・シーサービス	大谷喜代志	下小山田町3160	建物の清掃警備	97-0836

青年部会町田署と親善ソフトボール試合を実施

青年部会では4月9日大正海上火災保険町田営業所の御協力を頂き同社玉川総合グラウンドにおいて町田税務署と親善ソフトボール試合を実施いたしました。署長、副署長、法人税部門統轄官殿がスターティングメンバーとして登場した署に対し若手でスタートした部会が前半大量のリードを奪

い、後半署側の猛烈な追い上げにあい最終一回一打逆転のスリリングな場面が展開されました。親善とはいえ手に汗を握る好試合を展開し平素の仕事をお忘れ一投一打に全力を傾注いたしました。

スコアー 町田税務署14-15 青年部会

*****編 集 後 記*****

今年近年になく、猛暑の日が続いたのもつかの間、台風五号の襲来で、各地に多大の被害がもたらされましたが、罹災された方々には、心からお見舞申し上げます。

残暑の中、会員の皆様にはお変りなく、企業経営にご奮斗のことと拝察致します。会報の発行、遅くなりましたが、初秋号をお送り致します。

本号は当法人会の主な行事を中心に編集してみました。会活動も、会員の皆様のご理解あるご支

援のお蔭にて、順調な事業活動を続けております。◎初級実務簿記講習会も、好評裡に二回終了いたしました。九月からは、中級実務簿記の講座を計画実施する予定ですので、企業経営に役立てるべく、奮ってご参加下さい。

なお、会報へのご寄稿記事、或いは編集についてのご希望等ございましたら、法人会事務局までご連絡下さい。

(広報委員会)